

# HAPPY BIRTHDAY TO ME

## 誕生日ケーキの発祥って？

第208号 2021年2月22日発行

### ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や  
ご要望に応えるコンシェルジュがいる  
ように、保育においても様々な  
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=  
ミマモルジュとして、保育に関する  
ご要望にお応えしていけるよう  
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

### バースデーケーキの歴史

先日、誕生日を迎えました。妻からの誘いで自分の誕生日のケーキを一緒に焼くこととなり、チーズケーキを焼きました！

思っていた以上に簡単で美味しく、これは新たな扉を開いた感じです！

ふと、誕生日ケーキを焼きながら、誕生日ケーキを食べる習慣って、いつからはじまったの？とふと疑問に思い調べてみました。

いくつかサイトを検索し諸説あるようですが、15世紀のドイツでは、キンダーフェストと呼ばれる子どもの誕生日会が行われていたようです。

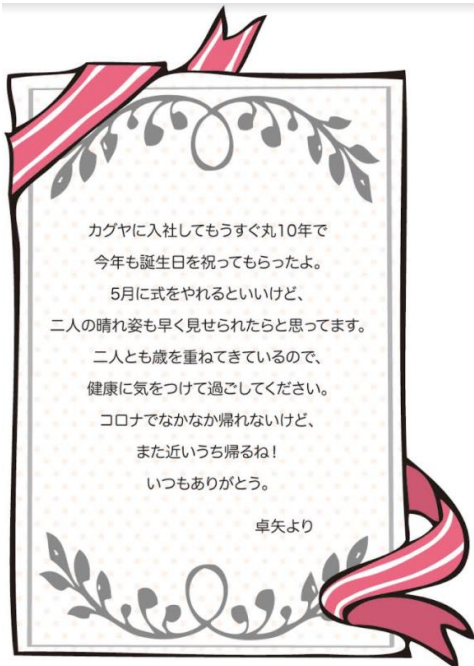
当時、子どもの誕生日に悪霊がやってくると考えられ、バースデーケーキの上に1日中ろうそくを灯すことで神に祈りを捧げ、子どもを守り、1日が無事に終わるとろうそくの火を消し、ケーキを皆で分け合って食べていたそうです。それが19世紀アメリカに伝わり、戦後日本に伝わったようです。

以前、ドイツ保育環境視察ツアーに参加した際、誕生日の子が1日王冠を被り、子ども達や先生方から、その日1日おめでとうの声掛けをしているという事を行っていると聞きました。社内でもその文化を持ち帰り、誕生会の時には王冠を被ってスタッフ同士でお祝いをしています。

### 日本でのお祝い

個人の誕生日をお祝いすることは一般的になっていますが、もともと日本には誕生日をお祝いする習慣はなく、昔は「数え年」で年齢を数え、お正月がくるとみんな一斉に年をとっていたようです。





両親への誕生日メッセージ

日本で個人の誕生日が祝われるようになったのは、昭和24年に「年齢のとなえ方に関する法律」が制定されて以降に、満年齢での数え方が普及しはじめてからだそうです。

制定された背景について [wikipedai](#) に4項目かかれ、その一つに当時の日本では税金その他の生活についても何となく暗い気持ちになっていたところ、せめて年齢だけでも若返るといようなことは、明るい気持ちができるものである。予算を伴わないで国民の気持ちが明るくなるということは、政治上で大事な点である。と書かれています。

そして、伝統的な日本でのお祝いの七五三は、室町時代頃から行われていたようです。七五三の記事については、「カグヤの室礼歳時記」も是非お読み頂けたらと思います。

## 誕生日を迎えて思うこと

誕生日ケーキから、その発祥や日本での歴史を簡単に観てきましたが、何気なく誕生日にはケーキを食べる！ことが当たり前になっていましたがやはりそこには、謂れや歴史があるんだなと改めて感じました。

日本の歴史でもそうですが、ドイツでも子どもの成長を願い、祈る、その想いは変わらずあるのだと感じます。

カグヤ社内には以前から、両親へポートフォリオを贈っています。今自分がいるのは、やはり両親がいて、育ててくれたお陰で大人にまで成長できたと思う、その感謝を伝える機会が誕生日であるということで、今年も両親に向けてのメッセージを書きました。

メッセージを綺麗にレイアウトしてもらい、他のページにはクルーから私への日頃の働きなどについてメッセージも書かれ、1冊のポートフォリオが贈られます。自分の誕生日に両親へ感謝を伝えられる、そんな1日が有難く感じます。

### ●過去のバックナンバー

#### 第205号

「藤森平司」特別セミナー

#### 第206号

STEM 実験

#### 第207号

ミマモリングソフト zoom 説明会

<http://www.caguya.co.jp/mimamoru/jyu-magazine/>



〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 1-1-17 東京堂神保町第3ビルディング8階

Tel:050-1744-8823

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、

QRコードからお願いします。